

NOFテクノポートカマタセンタービル

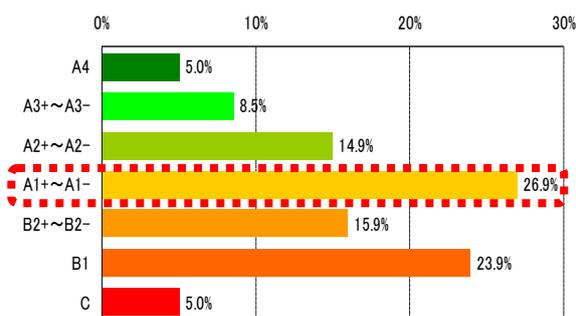
名称: NOFテクノポートカマタセンタービル
 所在地: 大田区南蒲田2-16-1
 施工: 鹿島建設株式会社
 設計: 鹿島建設株式会社
 事業者等: 三井住友信託銀行株式会社
 野村不動産投資顧問株式会社
 竣工: 1990年9月
 建物構造: SRC造 地上11階 地下1階
 延床面積: 21,516.54m²



建物外観写真
(NOFテクノポートカマタセンタービル)

CO₂排出実績

平成26年度 1,203t
 床面積あたりのCO₂排出原単位
 (1,203t / 21,516.54m²) × 1,000
 = **55.9kg-CO₂/m²**



テナントビル(オフィス系、準大規模)のベンチマーク(2012年度実績版)

※(延床面積 10,000m²以上、20,000m²未満)

レンジ	平均値に対する比率	CO ₂ 排出原単位(kg-CO ₂ /m ²)の範囲	事業所数	事業所数の割合	平均延床面積(m ²)
A4	0.55以下	32.8 以下	10	5.0%	13061
A3 +	0.55超-0.60以下	32.8 超 35.8 以下	5	8.5%	14108
A3	0.60超-0.65以下	35.8 超 38.8 以下	7		13770
A3 -	0.65超-0.70以下	38.8 超 41.8 以下	5	14.9%	11952
A2 +	0.70超-0.75以下	41.8 超 44.7 以下	9		11890
A2	0.75超-0.80以下	44.7 超 47.7 以下	10		14068
A2 -	0.80超-0.85以下	47.7 超 50.7 以下	11	23.9%	14794
A1 +	0.85超-0.90以下	50.7 超 53.7 以下	18		13933
A1	0.90超-0.95以下	53.7 超 56.7 以下	17	26.9%	14284
A1 -	0.95超-1.00以下	56.7 超 59.6 以下	19	15.9%	14168
B2 +	1.00超-1.05以下	59.6 超 62.6 以下	15		14081
B2	1.05超-1.10以下	62.6 超 65.6 以下	13		14004
B2 -	1.10超-1.15以下	65.6 超 68.6 以下	4	23.9%	13488
B1	1.15超-1.50以下	68.6 超 89.4 以下	48		14434
C	1.50超	89.4 超	10	5.0%	13881
合計			201	平均	13977

CO₂排出原単位55.9kg-CO₂/m²は、都のテナントビル(オフィス系、準大規模)ベンチマークレンジでは、「A1」となる二酸化炭素排出の少ないビルです。

省エネルギー対策の取り組み状況

- プロパティ・マネジャーや管理会社、テナントと一体となって運用対策を推進し、エネルギー使用量の削減を継続している。
- 更新時期を迎えた設備を順次高効率機器へ更新し、エネルギー使用量を削減している。

・設備導入での対策

照明器具のLED化
LED誘導灯へ更新



【人感センサー付階段通路誘導灯】

・運用での対策

照明スイッチに点灯範囲を表示
便座ヒーターの温度の季節別設定
外灯等の点灯時間の季節別管理
事務用機器を業務終了後に停止



【照明スイッチ点灯範囲】

【空調スイッチ範囲】

・管理面

テナント、管理会社とともに省エネ対策の課題等を共有の上、館内規則等の見直しを行っている。

エネルギーデータの分析の他、主要な省エネルギーの運用対策マニュアルの提供及び実施方法の紹介を行い、テナントへの運用対策の継続を要請している。



・CO₂ 排出量の推移

2012年度は照明のLED化を実施した。その効果もあり、2014年度にかけ重負荷テナントの入居があったが、排出量の増加を抑えることができた。

エネルギーデータの把握による省エネの推進

エネルギー管理システムを導入し、事業所ごとにエネルギー使用量を毎月入力し、全社のエネルギー使用量を集計・把握して省エネ活動に活用している。異常値等あればテナントにヒアリングを実施し、アドバイスを行っている。